

(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人環境ネットやまがた		
事業名	「SDGs×気候変動」による脱炭素社会への促進事業		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型）【テーマ：山形県自動車販売店リサイクルセンター 山形から発進！未来へつなぐ循環型社会づくり支援事業】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	450,865 円
		うち助成金額	450,000 円

■ 事業目的

気候変動(地球温暖化)の影響は、夏の猛暑や集中豪雨の頻発、冬の雪不足といった状況で顕在化しており、今後私たちの生活に与える影響は危機的に大きくなることが懸念されている。山形県でも令和2年7月豪雨で最上川が氾濫し、浸水などの被害があり、地球の平均気温の上昇を1.5℃未満に抑えるため、地球温暖化対策を強力に推進していく必要がある。一方で、2015年9月国連で採択されたSDGs「持続可能な開発目標」が提唱する17のゴールを達成させることも重要である。これからの地球温暖化対策は、SDGsと合わせて考える必要がある。本事業の実施を通じて、県民のSDGsへの理解を促し、未来の山形の脱炭素社会に繋がる取り組みを行う。

■ 実施内容

① 『ストップ温暖化「脱炭素×SDGs」推進セミナー』の開催

一般県民を対象として、「気候変動(地球温暖化)の現状、影響」や「SDGsとは何か(基礎編)」を学ぶセミナーを開催した。

日時：11月25日(水) 14:00～16:00

会場：やまぎん県民ホール(山形市)

参加者：一般県民、事業者等45名



② 「活動へのSDGsの活用術～脱炭素社会の実現のために～」の開催

地球温暖化対策の活動の中で、SDGsの視点をどう活かしていくか等、具体的な事例を学びながら考える研修会を開催した。

日時：1月15日(金) 13:30～15:30

会場：山形県自治会館(山形市)

参加者：事業者、行政職員等11名



■ 事業の成果及び今後の展望

セミナーでは、気候変動の現状を知り、対策を学ぶことで、参加者からは「現実が理解できた」、「これからの予測など理解し、イメージできた」、「山形でも危機意識を持つことが必要だと感じた」などの感想があり、気候変動の現状への理解を深めることができた。

また、令和2年度、地球温暖化対策は、2050年のゼロカーボンに向けて国や県、市町村の新たな動きが始まった。SDGsも2030年に向け、県内での取り組みが進んでいる。しかしながら一過性のものでなく、これからも継続的な取り組みを続けることが重要である。そのため、事業終了後も引き続き、取り組みが促進されるよう継続的にセミナーの開催や啓発活動を続けていきたい。

当法人は県内各地で次のような活動を行っています。

- 山形県地球温暖化防止活動推進センター業務
- 山形県環境保全協議会事務局
- エコアクション21の普及
- 環境学習の推進 など

Webページにて団体の活動などを掲載中！

◆当会のホームページ <http://eny.jp/>

◆当会のフェイスブック <https://www.facebook.com/kankyo.net.yamagata/?ref=hl>

